

WebSAM DeploymentManager Ver6.5

SQL Server 2016へのアップグレード手順書

—第 1 版—

改版履歴

| 版数 | 改版日付 | 改版内容 |
|----|---------|------|
| 1 | 2016/08 | 新規作成 |

目次

1. 使用しているデータベースをSQL Server 2016へアップグレードする手順..... 5
2. アンインストール 6

商標について

- ・ WebSAMIは日本電気株式会社の登録商標です。
- ・ Microsoftは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

はじめに

本書は、WebSAM DeploymentManager Ver6.5(以降、DPM)で使用しているデータベースをSQL Server 2016(Express/Standard/Enterprise)へアップグレードする手順について説明します。

ヒント

- 本書で説明しているインストール手順以外は、「インストレーションガイド」を参照してください。以下の製品サイトから、最新版を入手できます。
<http://jpn.nec.com/websam/deploymentmanager/>
- SigmaSystemCenter、VirtualPCCenter に同梱している DPM を使用している場合は、以下のSigmaSystemCenter の製品サイトも参照してください。
<http://jpn.nec.com/websam/sigmasystemcenter/>

1. 使用しているデータベースを SQL Server 2016 へアップグレードする手順

本章では、使用しているデータベースをSQL Server 2016にアップグレードする手順について説明します。

注意

- アップグレード前に Microsoft 社のページ(以下)を参照して、システム要件、注意事項などを確認しておいてください。
 - ・ バージョンをアップグレードする場合
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=sql.130\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=sql.130).aspx)
 - ・ 上位エディションにアップグレードする場合
[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783\(v=sql.130\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783(v=sql.130).aspx)
- アップグレード元の SQL Server のアーキテクチャが x86 の場合、SQL Server 2016 へのアップグレードはできません。

- (1) データベースがインストールされたマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありませんので(3)へ進んでください。
DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、「スタート」メニューから「管理ツール」→「サービス」を選択し、「DeploymentManager」で始まる名前のサービスをすべて停止します。
- (3) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、アップグレードを行ってください。
 - ・バージョンをアップグレードする場合
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267\(v=sql.130\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms144267(v=sql.130).aspx)
 - ・上位エディションにアップグレードする場合
[https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783\(v=sql.130\).aspx](https://technet.microsoft.com/ja-jp/library/cc707783(v=sql.130).aspx)

注意

- 「SQL Server インストールセンター」の設定内容については、以下に注意してください。
 - 「インスタンスの選択」画面：DPMのインスタンスを選択してください。

- (4) データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、本手順は必要ありません。
DPM サーバと同一マシン上にデータベースを構築している場合は、(2)で停止したサービスをすべて開始します。

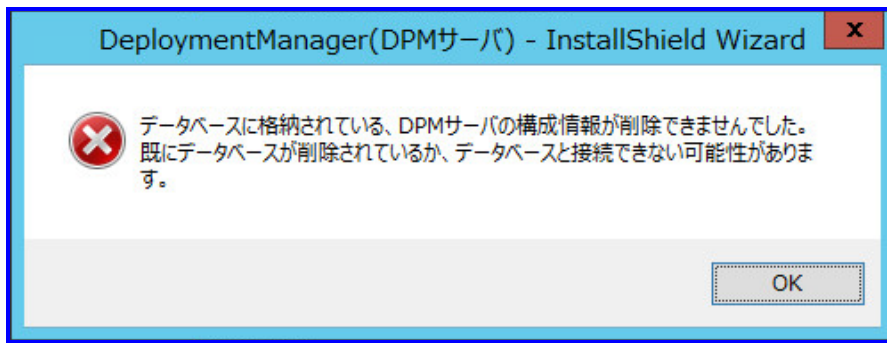
以上で、SQL Server 2016へのアップグレードは完了です。

2. アンインストール

本章では、前章までの手順で構築した環境から、データベースのみをアンインストールする手順について説明します。データベース以外のコンポーネントについては、「インストレーションガイド」を参照してください。

注意

- データベースをアンインストールする前に以下を参照して、注意事項などを確認しておいてください。
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412\(v=sql.130\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412(v=sql.130).aspx)
- データベースをアンインストール後に DPM サーバをアンインストールすると、以下の画面が表示されます。
動作上問題ありませんので、「OK」ボタンをクリックして、アンインストールを進めてください。



ヒント

- DPM サーバを一緒にアンインストールする場合は、「インストレーションガイド 4.2 DPM サーバをアンインストールする」を参照してください。
- データベースサーバ上にデータベースを構築している場合は、「インストレーションガイド 付録 D データベースサーバを構築する」の「■ データベースをアンインストールする」を参照してください。

- (1) DPM サーバをインストールしているマシンに、管理者権限を持つユーザでログオンします。
- (2) Microsoft 社のページ(以下)を参照して、インスタンスをアンインストールしてください。
[http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412\(v=sql.130\).aspx](http://technet.microsoft.com/ja-jp/library/ms143412(v=sql.130).aspx)
- (3) 以下フォルダ配下のファイルをすべて削除してください。
 - ・SQL Server 2014 から SQL Server 2016 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL12. **インスタンス名**\MSSQL\Data
 - ・SQL Server 2012 から SQL Server 2016 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL11. **インスタンス名**\MSSQL\Data
 - ・SQL Server 2008/SQL Server 2008 R2 から SQL Server 2016 へアップグレードインストールした場合
C:\Program Files\Microsoft SQL Server\MSSQL10_50.DPMDBI\MSSQL\Data

以上で、データベースのアンインストールは完了です。